野村不動産グループのサステナビリティ

当社グループは、「私たちの約束」をグループ企業理念・サステナビリティ ビジョンとして掲げています。

「私たちの約束」は、取締役会で決定され、中長期経営計画「New Value, Real Value」が目指す将来像となっています。ま た、サステナビリティ推進体系として、4つの重点テーマ(「安心・安全」「環境」「コミュニティ」「健康・快適」)と2つの推進 基盤(「人材」「マネジメント体制」)を設定し、経営戦略とサステナビリティの一体推進を図っています。

サステナビリティ推進体系

私たちの約束

あしたを、つなぐ

私たちは、人、街が大切にしているものを活かし 未来につながる街づくりとともに、豊かな時を人びとと共に育み 社会に向けて、新たな価値を創造し続けます

事業を通じた社会課題の解決と新しい社会価値の創造

サステナビリティの4つの重点テーマ 安心•安全 環境 コミュニティ 健康•快適

サステナビリティ推進基盤

人材 ウェルネスの実現・ダイバーシティの推進など

マネジメント体制 コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス/リスクマネジメントなど

サステナビリティマネジメント

マテリアリティ策定のプロセス

マネジメント体制、方針などについてご覧い頂け ます。

マテリアリティ策定のプロセスや各ステークホル ダーとの対話内容についてご覧頂けます。

事業とサステナビリティ

>

特集

事業活動ごとに関連するステークホルダーや社会 課題への対応についてご覧頂けます。

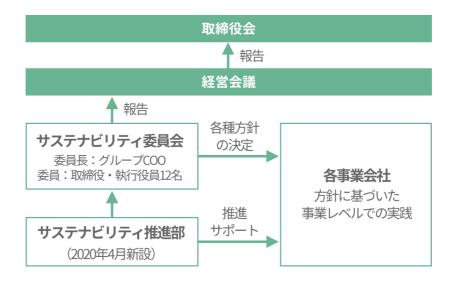
当社グループのサステナビリティに関する主な取 り組みについてご覧頂けます。

サステナビリティマネジメント

サステナビリティマネジメントと「サステナビリティ方針と目標」

当社グループは、サステナビリティ活動の一層の強化・推進を図るために、2020年4月にサステナビリティ推進部を新設しました。野村不動産ホールディングス代表取締役副社長兼グループCOOが委員長を務める「サステナビリティ委員会」では、サステナビリティ方針とその目標に対する進捗状況の確認、および活動計画の審議、決定を行っています。また、検討した結果は取締役会に報告され、経営計画や事業活動に反映しています。

2019年度は「CSR委員会(現サステナビリティ委員会」)および「CSR推進会議」を計5回開催しました。引き続き この方針に沿ってPDCAサイクルを回し、サステナビリティ活動を推進していきます。



野村不動産グループサステナビリティ方針

	サステナ	ゼリティ ーマ	グループ方針	重点項目	グループ目標・指標	関連する主なSDGs
			野村不動産グループは、気候変動や天然資源の枯渇、 生態系の崩壊を重要な社会課題と認識し、省エネル ギー・低炭素社会への取り組みや再生可能エネルギー	環境マネジメントの高度化	環境認証(DBJ Green Building LEED CASBEなど)取得	7 SEAST-BALLEE SEAST-SEE
		12		気候変動への対応	COz排出量削減	※
					太陽光発電促進	12 octano
3 <u>322</u>					エネルギー使用量削減	00
Ε		環境	の活用、適切な資源利用などの環境に配慮した街づく りを通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。ま	効率的な水資源の利用	水使用量削減	13 RECORD
			た、環境法令・規制を遵守し、適切な環境マネジメントを推進します。	生物多様性への配慮	生物多様性認証 (ABINC/JHEP/SEGB\$X得	15 ******
				適切な資源利用と汚染防止	廃棄物排出量削減	<u>•</u>
					国産·FSC認証木材使用促進	
			野村不動産グループは、建物やインフラの老朽化・陳腐化、都市機能の低下、自然災害の増加を重要な社会課題と認識し、適切な品質管理に基づく商品・サービスの提供や持続可能な街づくりによって、お客さまや地域社会の安心・安全の実現に貢献します。また、非常時にも事業や生活を継続できる職住環境づくりを推進します。	設計・施工における 安心・安全品質の向上	設計基準・品質マニュアルの遵守	9 manusano manocas
	4	安心·安全		運営・管理における 安心・安全品質の向上	管理品質の向上と アフターサービスの充実	12 OCA 18
	4つの重点テーマ	女全		長寿命・高耐久化の取り組み	長寿命・高耐久の商品・ サービスの提供	13 RESECTION AND AND AND AND AND AND AND AND AND AN
	デ			災害時の安心・安全の確保	防災対策の拡充	
	₹	_	野村不動産グループは、少子高齢化や空き家の増加な どによるコミュニティの機能不全や活力低下、つなが りの希薄化を重要な社会課題と認識し、建築設計上	コミュニティへの配慮と活性化支援	コミュニティを活性化する 設計・デザインの拡充	8 2221
		コミュニティ	の取り組みや運営上のサービスを通じて、お客さまや 地域社会のつながりを醸成し、コミュニティの育成を 支援します。このことにより、非常時の円滑な共助や 地域・コミュニティの活性化を促し、共生型社会の実 現に貢献します。		運営・管理における コミュニティ活性化支援	16 Freeze
			野村不動産グループは、少子高齢化やグローバル化、	高齢化・多様性への対応と 健康支援 健康支援・健康寿命増進	3 #**CEARC まちづくりを まちづくりを	
		健康	個人の価値観・ライフスタイルの多様化を重要な社会課題と認識しています。 ステークホルダーとコミュニ		健康支援・健康寿命増進	5 sactor 📥
S		康·快適		顧客満足と快適性の向上	顧客満足向上のための コミュニケーション	(1) AND
			やかで活力ある社会の実現に貢献します。		快適性の向上	(\$)
					労働災害の防止	
		に、すべての役職員が心身ともに健康で活き活きと仕事に取り組むことが企業の持続的成長につながる「ウェルネス経営」を目指します。また、従業員やサブ・イヤーの安全衛生と健康の確保が重要な経営課題であると認識し、これを推進します。そして新たな価値を創造し続けるために、多様性がもたらすイノベーションが重要であると認識し、さまざまな視点・考え方を持った人材が、属性に関わらず、個性や能力を十分に発掘	従業員の健康と安全の追求	従業員の心身にわたる 健康管理の徹底		
			て、事業活動を継続し、企業価値を向上していくために、すべての役職員が心身ともに健康で活き活きと仕事に取り組むことが企業の持続的成長につながる「ウェルネス経営」を目指します。また、従業員やサブライヤーの安全衛生と健康の確保が重要な経営課題であると認識し、これを推進します。そして新たな価値を創造し続けるために、多様性がもたらすイノベーションが重要であると認識し、さまざまな視点・考え方を持った人材が、属性に関わらず、個性や能力を十分に発揮できるよう、ダイバーシティの推進と公正で働きがいの	化業員の健康と女宝の 追求	有給休暇の取得促進	
					過重労働の防止	3 TATOLE
				ダイパーシティの推進	女性活躍促進	<i>-</i> ₩ *
					育児・介護支援	5 sat-2)
					高齢者・障がい者雇用促進	<u> </u>
	2			公正で働きがいのある職場づくり	公正な評価・報酬の実施	8 ::::::
	の推				従業員満足度の向上	411
	2つの推進基盤			人的資源の高度化	人材育成の強化	
	盤			サプライヤーの安全の確保	CSR 調達ガイドラインの遵守	
				TY TYPE IN	サプライヤーの安全の確保	
			野村不動産グループは、持続可能な社会の実現に向け マ、事業活動を継続し、企業価値を向上していくため に、コンプライアンスの強化、リスクマネジメントやコー ポレートガイナンスの推進が重要な経営課題であると フ湾によりな発達します。また、お宮でまり地域と	コーポレートガバナンス	取締役会における多様性確保	5 SENSON
		マネジメント体制		コンプライアンス	コンプライアンス遵守	<u> </u>
G				リスクマネジメント	リスクマネジメントの徹底	10 ccc++
		体制	認識し、これを推進します。また、お客さまや地域社会、従業員やサプライヤーを含むすべての人の人権を	人権	人権研修の徹底	16 TATOAL
			尊重した事業活動を行います。	サプライヤーマネジメントの高度化	CSR 調達ガイドラインの遵守	Y

役員報酬におけるサステナビリティ/ESG観点の反映

当社グループは、2019年度より、役員の選任要件として社会の変化や時代の要請への適合について、高い意識を有することを求めるとともに、役員報酬の決定において、気候変動などのサステナビリティ/ESGの観点を取り入れました。役員はサステナビリティ/ESG観点に応じた役割を与えられ、報酬決定時には、その結果に応じた変動報酬が算出されます。

□ 役員報酬制度の詳細はこちらをご覧ください。

マテリアリティ策定のプロセス

「4つの重点テーマ」の決定プロセス

当社グループは、2015年度に「4つの重点テーマ」を下記のプロセスを経て決定しました。

STEP1. 社会課題を幅広く検討

「ISO26000」「GRIガイドライン第4版」などの国際的なフレームワークを参考に、社会課題を幅広く抽出。当社 グループの事業と関連性の高い社会課題から、重点テーマの候補を選定しました。

STEP2. 当社グループにとっての重点テーマを仮設定

CSR委員会(現サステナビリティ委員会)において、STEP1.で選定した候補について当社グループの事業への影響度(関連性やリスクの大きさ)を議論し、重点テーマを仮設定しました。

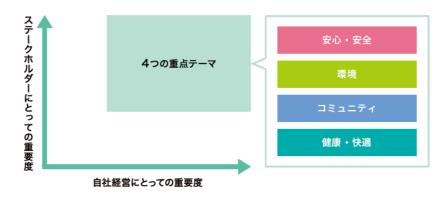
STEP3. ステークホルダーにとっての重点テーマを抽出

主要ステークホルダーに、当社グループが対応すべき社会課題についてアンケートとヒアリングを実施。ステークホルダーにとって重要と思われるテーマを抽出しました。

主なステークホルダー	選定理由	対話の機会	主要なテーマ
お客さま	当社グループが持続可能な事業活動を推進する ためには、お客さまからの信頼は不可欠です。 お客さまの声に傾聴し、期待にお応えしていき ます。	商品・サービスの説明意見交換アンケート専用窓口の設置	・安心・安全・品質の向上・コミュニティ活性化・ユニバーサルデザイン
従業員	従業員はすべての事業活動の根幹をなすものです。従業員が心身ともに健康で活き活きと仕事 に取り組むことが当社グループの事業活動と従 業員自らの成長の源泉であると認識しています。	・人事部や上司との面談 ・労使間協議 ・グループ報・社内報の発行	ダイバーシティ働き方改革中長期キャリア
地域コミュニティ	当社グループが持続可能な事業を推進するには 地域コミュニティと連携することが重要と考え ています。また、地域コミュニティが抱える課題 に向き合い、コミュニティの活性化を促すために 対話することが重要であると認識しています。	意見交換アンケート	コミュニティ活性化環境保全
行政	デベロップメント事業をおこなう当社グループ においては、許認可などを含め、行政とのパート ナーシップは不可欠です。未来(あした)につな がる街づくりのために、コミュニケーションを図 りながら、事業活動を推進していきます。	• 意見交換	コミュニティ活性化環境保全コンプライアンス
サブライヤー	当社グループにおけるすべての事業活動はサブライヤーの方々に支えられています。すべてのサブライヤー皆さまが健康で働きやすい環境を作ることは当社の使命であると認識しています。	調達ガイドライン意見交換安全大会	・商品・サービスの企画・設計 ・品質管理 ・コンプライアンス
株主・投資家	持続的な事業活動を展開していくために、株主・ 投資家の皆さまからのご理解、信頼をいただく ことは不可欠であると認識しています。適切な 情報開示とともにコミュニケーションを推進し ます。	株主総会IRミーティング報告書発行	・決算・財務状況 ・中長期の事業戦略

STEP4.「4つの重点テーマ」を決定

ステークホルダーと当社グループ双方の視点から、重要度に応じてテーマをマッピングし、4つの重点テーマを 決定しました。



「4つの重点テーマ」について、社会課題・重要な理由・当社グループのアプローチ・関連する経営戦略などについて整理しました。

4つの重点テーマ	安心・安全	環境	コミュニティ	健康•快適
ステークホルダー	従業員、サプライヤー、 お客さま、地域コミュ ニティ	従業員、サプライヤー、 お客さま、地域コミュ ニティ	従業員、サプライヤー、 お客さま、地域コミュ ニティ	従業員、サプライヤー、 お客さま、地域コミュ ニティ
主な社会課題	建物やインフラの老朽 化・陳腐化、都市機能の 低下、自然災害の増加	地球温暖化、気候変動、天然資源の枯渇、生態系の崩壊	少子高齢化や空き家の 増加などによるコミュ ニティの機能不全や活 力低下、繋がりの希薄 化	少子高齢化やグローバ ル化、個人の価値観・ラ イフスタイルの多様化
重要な理由	■不動産事業や街づくりは、ステークホルダーの生活や事業を支える基盤であり、安心・安全の実現は不可欠 ■建物などの老朽化・陳腐化を改善し、将来に向けて、長寿命・高耐久化を実現する必要がある	■当社グループの事業は、天然資源やエネルギーを多く利用しており、環境問題は事業継続に影響する ■環境問題は、当社グループの事業だけでなく、ステークホルダーのの生活や事業にも影響する大きな課題	■持続可能な街づくりのためには、コミュニティが健全に機能し、主体的に活動することが不可欠 ■健全なコミュニティを育成するために、設計デザインやサービスでサポートする必要がある	■街やコミュニティが 持続可能であるために は、個人個人が健康・快 適であることが大切 ■さまざまな属性の人 が自立して快適に過ご すために、設計デザイ ンやサービスでサポー トする必要がある
当社グループの アプローチ	■適切な品質管理に基づく商品・サービスの 提供や持続可能な街づくりによって、お客さまや地域社会の安心・安全の実現に貢献 ■非常時にも事業や生活を継続できる職住環境づくりを推進	■省エネルギー・低炭素社会への取り組みや再生可能エネルギーの活用、適切な資源利用などの環境に配慮した街づくりを通じて、持続可能な社会の実現に貢献 ■環境法令・規制を遵守し、適切な環境マネジメントを推進	■建築設計上の取り組みや運営上のサービスを通じて、お客さまや地域社会の繋がりを醸成し、コミュニティの育成を支援 ■非常時の円滑な共助や地域・コミュニティの活性化を促し、共生型社会の実現に貢献	■ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、さまざまな人がその属性に関わらず、健康で快適な生活を送ることができるよう商品・サービスを提供 ■多様性を尊重しあう、健やかで活力ある社会の実現に貢献
関連する経営戦略 4つの価値創造テーマ				
①豊かなライフス タイル・ワークスタ イルの実現			多様なライフスタイ ル・ワークスタイルを 受容するコミュニティ の実現	健康寿命増進のための 商品・サービスの提供 および多様性に配慮し た街づくり
②「利便性」「快適 性」「安心・安全」に 優れた多機能な街 づくり	災害対応も含めた建物 の安心・安全品質の向 上と品質管理の徹底	地球温暖化など環境の 変化に対応できる快適 な空間づくり、および 自然災害への対応	「都市型コンパクトタウン」など、多機能で利便性を有する街づくり	高齢者など多様な人が 健康・快適に過ごせる 街づくり
③地球環境・地域社会の未来を見据えた街づくりとコミュニティ形成	建物の長寿命・高耐久 化およびこれらを可能 にする修繕工事やメン テナンスの充実	環境性能向上とグリーンビルディング認証の取得、およびエネルギー関連ビジネスによる環境配慮と顧客サービスの充実	持続可能なコミュニティを実現するための仕組みづくりと商品・サービスの展開	

④良質な商品・サービスのグローバル展開	安心・安全を実現する 良質な商品・サービス のグローバル展開	環境価値の高い建物お よび運営事業のグロー バル展開	コミュニティへの配慮 と活性化の知見を活か した街づくりのグロー バル展開	多様な人が健康・快適 に過ごせる街づくりの グローバル展開
該当するGRIの側面	排水および廃棄物、顧客の安全衛生	エネルギー、水、生物多様性、大気への排出、排水および廃棄物、サプライヤーの環境評価	間接的な経済影響、地域コミュニティ、サプライヤーの社会への影響評価	多様性と機会均等
主に関連するSDGs	日 2 つくさ責任 日本 2 つくさ責任 日本 2 つくさ責任 日本 2 つかう責任 日本 3 有条的の対策を	7 エネルギーをみんだ 12 つくさ責任 12 つかう責任 12 つかう責任 13 水米東部に 15 中の方 1	8 報告が16	3 fatoale 5 fatoale
		11 #2	最けられる つびりを	

「サステナビリティ方針と目標」の決定プロセス

STEP5. 関連する事業・業務の抽出

事業部門にヒアリングの上、「4つの重点テーマ」に関連する事業・業務を抽出し、事業部門と検討しました。

STEP6. 評価および論点の整理

国際的なフレームワークや責任投資における環境・社会・ガバナンスに関する論点を整理しました。

STEP7. 方針・目標の決定と承認

CSR委員会での議論を経て、グループ横断のサステナビリティ目標を決定。野村不動産ホールディングス取締役会にて承認されました。

□「サステナビリティ方針と目標」

ステークホルダーとの対話

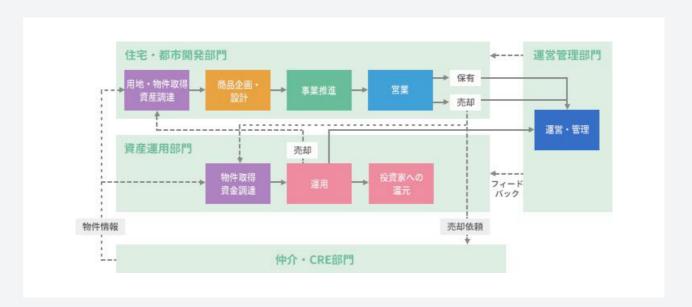
当社グループは、ステークホルダーの皆さまとの誠実なコミュニケーションと信頼関係の構築に努めています。

ステークホルダー	主な回答
お客さま	・地域活性化を担い周辺住民からのイメージ向上に期待 ・生態系への配慮や持続可能性の高い素材選定に期待
従業員	・コミュニティの活性化は新たなサービスや事業になる・高齢者が増える中で健康サービスと快適空間の提供が重要
サプライヤー	・安心・安全は社会インフラである不動産の基本 ・コミュニティ形成と健康・快適への取り組みが 相まって広がっていくことを期待したい
株主•投資家	・安心で安全な不動産は社会と顧客からのニーズ・潤いのある街づくりが貴社に期待されている
CSR専門家 (社会的責任投資・環境など)	・環境パフォーマンスと経済性を両立してもらいたい・安心・安全を重視している企業だと思うので期待が大きい
NPO・NGO (環境・コミュニティ・建築など)	・高齢者世帯がこれから増加するため取り組みに期待したい ・建築や解体は環境負荷が大きい

事業とサステナビリティ

野村不動産グループは、事業活動において、配慮すべき社会課題やステークホルダーの皆さまの期待に向き合い、サステナビリティの取り組みを推進しています。

野村不動産グループの事業活動



事業活動	主な活動	主なステークホルダー	主要な社会課題への対応
用地・物件の取得/ 資金調達	 ・物件調査 ・不動産鑑定 ・環境調査 ・交渉・入札 ・契約 ・資金調達 など 	売主、仲介業者、金融 機関、投資家、不動産 鑑定士、従業員など	コミュニティへの配慮と活性化支援サプライヤーマネジメントの高度化
商品企画∙設計	お客さま・地域コミュニティへのアンケート商品企画設計デザインなど	お客さま、地域コミュ ニティ、NPO、設計会 社、行政、従業員など	・環境マネジメントの高度化 ・設計・施工における安心・安全品質の向上 ・長寿命・高耐久化の取り組み ・災害時の安心・安全の確保 ・コミュニティへの配慮と活性化支援 ・高齢化・多様性への対応と健康支援 ・顧客満足と快適性の向上 ・サプライヤーマネジメントの高度化

事業活動	主な活動	主なステークホルダー	主要な社会課題への対応
事業推進	・施工監理・品質管理・コスト管理・近隣説明会など	お客さま、地域コミュ ニティ、施工会社、従 業員など	・気候変動への対応 ・効率的な水資源の利用 ・生物多様性への配慮 ・適切な資源利用と汚染防止 ・設計・施工における安心・安全品質の向上 ・災害時の安心・安全の確保 ・コミュニティへの配慮と活性化支援 ・サプライヤーの安全の確保 ・サプライヤーマネジメントの高度化
営業 (販売、テナント募集)	マーケティングホームページ、パンフレット作成広告重要事項説明契約など	お客さま、地域コミュ ニティ、NPO、司法書 士、従業員など	高齢化・多様性への対応と健康支援顧客満足と快適性の向上
運用/ 投資家への還元	ファンド組成プロパティマネジメントアセットマネジメントなど	投資家、お客さま、金融機関、プロパティマネジメント会社、地域コミュニティ、従業員など	・環境マネジメントの高度化 ・気候変動への対応 ・効率的な水資源の利用 ・適切な資源利用と汚染防止 ・運営・管理における安心・安全品質の向上 ・災害時の安心・安全の確保 ・コミュニティへの配慮と活性化支援 ・サプライヤーマネジメントの高度化
運営•管理	 プロパティマネジメント アセットマネジメント 管理・修繕工事、スポーツクラブ・サービス付き高齢者向け住宅などの運営など 	お客さま、地域コミュニティ、事業主、サービス委託先企業、工事事業者、従業員など	・気候変動への対応 ・ 効率的な水資源の利用 ・ 適切な資源利用と汚染防止 ・ 運営・管理における安心・安全品質の向上 ・ 災害時の安心・安全の確保 ・ コミュニティへの配慮と活性化支援 ・ 高齢化・多様性への対応と健康支援 ・ サプライヤーの安全の確保 ・ サプライヤーマネジメントの高度化
仲介•CRE	・物件調査・不動産鑑定・環境調査・重要事項説明・契約など	お客さま、仲介業者、 金融機関、不動産鑑定 士、司法書士、従業員 など	コミュニティへの配慮と活性化支援高齢化・多様性への対応と健康支援顧客満足と快適性の向上

「人材」「マネジメント体制」に関する社会課題への対応はサステナビリティ/CSR推進基盤となるため、全ての事業活動に関わります。

サステナブルな製品・サービスの提供

当社グループでは、サステナブルな製品・サービスの提供により、事業を通じて社会課題へ貢献します。

重要課題	製品・サービス
	□ 床空調システム「床快full(ゆかいふる)」の導入 □ ニュースリリース
	□ 環境マネジメントシステムの第三者評価認証取得により環境大臣賞を受賞 □ ニュースリリース
環境	プ 分譲マンションにおけるZEHの開発 プ ニュースリリース
	□ 森林サイクルの循環を促しCO2 削減と健康増進に寄与する木質系構造部材を使ったマンション開発□ ニュースリリース
	♂「プラウドシティ日吉」におけるCO2排出量削減の街づくり ♂ ニュースリリース
.	♂ 分譲マンション「プラウド」に大規模修繕の長周期化を図る「re:Premium(リ・プレミアム)」を提供 ♂ ニュースリリース
安心・安全	□ 安心・安全を末永く マンション大規模修繕長周期化への取組み「アトラクティブ 30」発表 表 □ ニュースリリース
コミュニティ	♂ 「BE UNITED 構想」によるコミュニティの活性化 ♂ ニュースリリース
	ロ サービス付き高齢者向け住宅の開発 ロ ニュースリリース
健康•快適	□ 心豊かなこどもを育むスポーツ普及活動と地域活性化を促進する「こどもみらいプロジェクト」□ ニュースリリース